

スコアシート 基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目							
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境				0.32	-	-	2.9
1 音環境			3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		遮音性(T2)	4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能			5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能			3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
1.3 吸音		天井吸音板、床タイルカーペットを使用	4.0	0.20	-	-	
2 溫熱環境			2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御			3.0	0.50	-	-	
1 室温			3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能			3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境			2.9	0.25	-	-	2.9
3.1 昼光利用			3.6	0.30	-	-	
1 昼光率		昼光率2.3%	4.0	0.60	-	-	
2 方位別開口			3.0	0.40	-	-	
3 昼光利用設備			4.0	0.30	-	-	
3.2 グレア対策		ブラインド+庇あり	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度			3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境			3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		使用する材料はF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気			2.6	0.30	-	-	
1 換気量			3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積0.052>0.03	4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理			1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御			-	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.0
1 機能性			2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ			2.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性			1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応			2.0	0.33	-	-	
3 パリアフリー計画			3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性			3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高さ2.9m	5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースが執務スペースの25.7%	4.0	0.33	-	-	
3 内装計画			1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		評価項目No.1,2,5,10,12の取り組みあり	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.30	-	-	
1 転体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		ガルバリウム鋼板25年	4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水、汚水、雑排水:B、通気:A	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり	階高4.05 壁長さ比率0.11	4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり		5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.38	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPIm0.69	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	-	2.8	0.50	-	-	2.8
	集合住宅以外の評価		2.8	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	効率的運用		2.5	0.20	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価		2.5	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマ+省水型機器(大便器、小便器)	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	LGS下地+OAフロアの採用	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 污水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制	チェックリストを満たす項目が一部あり、広告物照明無し	3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	4.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画															
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0	○ ○	-	-	○	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0	-	-	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	1.0	-	-	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雜排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 転体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	1.0	-	2.0	3.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標**Q1 室内環境**

2.1.3 外皮性能

窓システムSC 0.8 窓の日射熱取得率(η) 0.7

U値(W/m²K) 窓システム 6.1 屋根 0.4 外壁 0.5 床 2.7

住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -

昼光率 2.3% 自然換気有効開口面積率 5.2%

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース - /人 病床 .0m²/床 シングル .0m² ツイン .0m²

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 - VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.9 m リフレッシュスペース 25.7% レストスペース 0.0%

1.2.2 リフレッシュスペース

想定耐用年数 - 年

2.2.1 転体材料の耐用年数

想定必要間隔 25 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 10 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 15 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

階高 4.05 m

3.1.1 階高のゆとり

壁長さ比率 11.0%

3.1.2 空間の形状・自由さ

床荷重 - N/m²

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構綠化指数 14% 建物綠化指数 7%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 45% 水平投影面積率 2% 地表面対策面積率 6% 蘆装面積率 38%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.69 断熱等性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

想定必要間隔 25 年 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

非住宅部分

太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

集合住宅の評価

BEI/BEIm 再エネ有 0.63 無 0.63 オフサイト再エネ有 - -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

一次エネ削減率 再エネ有 0.63 無 - -

2.4 転体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

BEI/BEIm 再エネ有 0.63 無 0.63 オフサイト再エネ有 - -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 43% 隣棟間隔指標Rw 1.26

2.2.1 温熱環境悪化の改善

地表面対策面積率 6.0% 屋根表面対策面積率 7.0% 外壁表面対策面積率 0.0%

2.2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積Sb 1.646m² 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 113.71 m 基準高さHb 33 m

2.2.3 温熱環境悪化の改善

緑地 443m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²